

第4分野 香り高い地域文化と心豊かな人を育むまち

基本方針1

**確かな学力と
豊かな心をもった
「郡上人」を育てます**

年度	平成29年度
責任部長	教育次長
責任課長	学校教育課長
責任課	学校教育課
関係課	児童家庭課・健康課・教育総務課・社会教育課

【施策名】	【主管課】	【関係課】
① 学校教育の充実	学校教育課	児童家庭課
② 安心して学べる教育環境づくり	学校教育課	教育総務課
③ 青少年の健全育成	社会教育課	児童家庭課・健康課・学校教育課

■基本方針に関連する昨今の社会経済情勢及び関連データ

◆全国・県・圏域等の状況及び関連データ	◆本市を取り巻く状況及び関連データ
<ul style="list-style-type: none"> ゆとり教育からの脱却を目指した現行の学習指導要領のもとで全国学テストが重視され、年々学力向上の兆しが見られるようになった。県の主な特徴は小学校が全国平均より低く中学校が高い。美濃地区もほぼ同じ様相である。 学習指導要領は28年度に改訂され32年度本格実施される予定。引き続き「豊かな心」「確かな学力」「健やかな体」のバランスがとれた「生きる力」の育成が求められるが、世界に比べ思考力不足や学習意欲、社会参画意識の低さが指摘され、体験学習やアクティブ・ラーニングに代表される主体的な学習が重要視される。 	<ul style="list-style-type: none"> 全国学力・学習状況調査の結果は本市も県と同じ様相が長く続いたが、27年度は小中ともほぼ全国平均を上回った。 全国的には小学校でも学級崩壊が危惧される中で、郡上市においては小中学校とも落ち着いた状況であり、地域も含めて青少年の健全育成に対する意識は高い。 本市の児童生徒は素直で優しいと評されるが、学習意欲や自己有用感の低さも指摘される。主体的な学習や志を高くもつ生き方教育、郡上をフィールドにした体験学習を進めていくことは本市においても中心課題と言える。

■基本方針に従い施策を進める上での重要課題

確かな学力と豊かな心をもった「郡上人」を育てていくためには、次の課題に取り組んでいく必要があります。

- 学校教育における主体的な授業づくりを目指す教職員研修の充実
- 安心安全で落ち着いた学校生活が保障される学校施設の整備
- いじめや不登校のない温かい教育環境づくりや、自分を見つめよりよい生き方を求めていく道徳教育の充実
- 郷土への愛着や誇りを高めるふるさと学習
- 家庭・学校・地域が一体となって郡上の子どもたちを見守り育てていく地域の教育力の向上

■目指す姿及び指標

目指す姿(目標)				達成状況(各年度の最新値)						
目指す成果(成果指標)				現状値(H26)	H28(実績)	H29(実績)	H30(実績)	H31(実績)	H32(実績)	目標値(H32)
高い志をもち、感謝の心と不屈の精神でひたむきに努力する「凌霜精神」＝「郡上魂」を継承する「郡上人」を育てます										
目指す成果(成果指標)	関連施策	単位	総合戦略	現状値(H26)	H28(実績)	H29(実績)	H30(実績)	H31(実績)	H32(実績)	目標値(H32)
郡上特別支援学校との合同研修会等の現状維持	①	回(フロー)		4	4	5				4
「郡上市の教育」実践の重点の達成度調査である「教科指導」達成度向上(4点満点) ※「教科指導」達成度:学ぶ楽しさと学びの実感が味わえる魅力ある授業と指導の改善	①	点(フロー)		3.2	3.2	3.2				3.3
ふるさと宿泊体験学習実施校の増加	①	校(フロー)		4	5	7				8
命の教育カリキュラム達成度の向上(4点満点) ※命の教育カリキュラム:命を大切にするための道徳を中心とした指導カリキュラム	②③	点(フロー)		—	3.1	3.1				3.0
老朽化に伴う公立小・中学校(4校7棟)の改修の促進	②	棟(ストック)		—	0	1(H30繰)				7
「地域のおじさん・おばさん運動」登録者数の増加	③	人(ストック)		2,072	2,075	2,098				2,130

■関連する市民アンケート調査の状況

	現状値(H26)	H28(実績)	H29(実績)	H30(実績)	H31(実績)	H32(実績)	目標値(H32)
▶							

■基本方針及び構成施策に関連する事務事業の状況について

【関連する事務事業の成果と課題】

①学校教育の充実

【成果】●「障害者差別解消法」の施行に伴い不登校や発達障がいの子も進んで登校できるよう合理的配慮と個別の教育支援計画の活用について理解を深めるために幼稚園・合同研修を1回、特別支援コーディネーターの役割や動きについての研修2回、郡上特別支援学校が主催でおこなう合同研修会を2回、計5回を実施。●児童生徒への指導力を高めるため、市の指定研修校(八幡小、白鳥小、八幡中、白鳥中)と指定研究推進校(相生小、大和北小、三城小、八幡西中、明宝中)の内、3校が公表会(八幡小、大和北小、八幡中)を行い、より有効な指導方法を広めたことにより、各校の教科における指導方法の充実に図ることができた。●学びの中で郷土を知るために、ふるさと宿泊体験学習を7校(八幡小、川合小、和良小、八幡中、八幡西中、郡南中、郡上東中)において実施し、食品サンプル体験やラフティング、大日ヶ岳登山、郡上踊り講習、郷土料理講習などを行い、郷土の産業や自然、歴史文化を再発見した。

【課題】

●平成29年度に新学習指導要領改訂告示があり、プログラミング教育など新しい分野の指導方法を確立する必要がある。

施策② 安心して学べる教育環境づくり

【成果】●不登校対策リーダー育成事業研修に1人参加し、その研修で得た内容を今後の実践に生かすよう生徒指導主事研修会において報告した。また、外部講師を招いた不登校対策研修会を2回実施した。●不登校児童生徒が学校への復帰を図るための適応指導教室スマイルを北部にも開設し、2か所体制とした。●1校1棟(大和第一北小体育館)を防災機能強化事業において設計及び工事発注(繰越工事で完成は平成30年度)を行った。

【課題】●いじめ認知の捉え方はこれまで喧嘩を除くとされていたが、平成29年度よりこれが削除されたため、前年度対比に大きな乖離が生じた。●残りの4校6棟の内外装改修については、今後の学校体制検討委員会の結果を踏まえて事業実施計画を行う必要がある。

施策③ 青少年の健全育成

【成果】●地域の大人も一緒になって地域の子どもを見守って育ててもらうため、郡上市青少年育成市民会議や郡上市教育フォーラム等各種イベントの際にも「地域のおじさん・おばさん運動」について周知を行った。特に前年度の基本方針評価調査(施策点検シート)の今後の展開の具体的な手法に基づき白鳥地域に重点を置いて周知した結果、新規登録者数が増加した。

【課題】●地域のおじさん・おばさんの登録者数は増えているが、声かけ等を増やし地域の子どもに「見守られている」との意識づけを高める必要がある。

【決算データ及び構成事務事業の実施状況】

施策名	H28決算額(千円)	H29決算額(千円)	構成事務事業の実施状況(H29)				
			a	b	c	d	小計
① 学校教育の充実	37,000	90,096	0	3	0	0	3
② 安心して学べる教育環境づくり	150,483	190,905	0	25	0	0	25
③ 青少年の健全育成	21,044	21,893	0	2	0	0	2
小計	208,527	302,894	0	30	0	0	30

a: 順調に実施されており、成果が表れている事務事業

b: 概ね順調に実施されており、一定の成果が表れている事務事業

c: 概ね順調に実施されているものの、目指す成果が表れていない事務事業

d: 実施状況及び目指す成果ともに停滞している事務事業

■総合評価(基本方針に基づき目指す姿がどのような状況にあるか)

総合評価

B 目指す姿に向けて概ね順調であるが、一部努力を要する。

【成果指標を踏まえた評価及びその理由】

①学校教育の充実

学校教育の充実として、学びの中で郷土を知る機会(ふるさと宿泊体験)が増えた。また、不登校や発達障がいに対する研修会や児童生徒への指導力の向上に向けた取り組み(教科スタンダード作成、指定研修校等の公表会)を行っており、成果指標に向け概ね順調であると考え。

②安心して学べる教育環境づくり

安心して学べる教育環境づくりとして、命のカリキュラムとして「かけがえのない命、支え合う命、輝く命」の視点に立って、不登校対策や命の大切さに取り組んでいるため、成果指標である「命の教育カリキュラム達成度の向上」も目標値を継続して上回ることができた。ただし、「老朽化に伴う公立小・中学校(4校6棟)の改修の促進」については、今後の学校体制検討委員会の結果を踏まえて事業実施計画を見直すことになったため、目標年度までに一部努力を要する。

③青少年の健全育成

青少年の健全育成として、「地域のおじさん・おばさん運動」の新規登録者数が前年度と比較して多く登録していただけたことは、見守る人が多くなったことのため、青少年健全育成に向け概ね順調であると考え。

【アンケート等市民の意見を踏まえた評価及びその理由】

■今後の展開

【今後の展開】

① 学校教育の充実

●個々の教員の特別支援教育に関わる理解と実践的な指導力の向上や学校としての組織的な教育力の向上を図る研修を実施 ●平成29年度に作成した主要5教科における郡上市版教科指導の道しるべとなる「教科スタンダード」を、学校の実態に応じて活用する。 ●教員を対象にプログラミング教育指導者養成研修を実施 ●ふるさと宿泊体験学習については、2日間以上の郡上市内体験学習校を増加していく。

② 安心して学べる教育環境づくり

●平成29年度の新学習指導要領改訂に伴い、市の「命の教育カリキュラム」を平成32年度までに改訂する。 ●適応指導教室スマイルでの指導及び相談の充実を図る。 ●学校体制検討委員会の結果を踏まえて残りの4校6棟の事業実施計画を行う。

③ 青少年の健全育成

●「地域のおじさん・おばさん運動」の周知を図り、地域の子どもに対する声かけ(あいさつ)者となる「地域のおじさん・おばさん」を増やす。

【具体的な手法又は事務事業名等】

① 学校教育の充実

・郡上市教職員研修(特別支援教育研修、不登校対策研修)を年間各2回実施(施策②に共通)
・平成29年度に作成した5教科すべての「教科スタンダード」を活用し、どの学校でも子どもたちが主体的に学ぶ力「確かな学力」を身につけさせる。
・平成30年度に教員を対象にプログラミング教育指導者養成研修を実施
・ふるさと体験学習(郡上学体験学習)を平成30年度は8校実施し、また、平成30年度初旬に白鳥町長滝でオープンする「鮎パーク」を活用した自然体験学習を実施

② 安心して学べる教育環境づくり

・命のカリキュラム作成委員会を立ち上げ、新学習指導要領に即した内容に「命の教育カリキュラム」を平成31年度末までに改訂
・北部に開設した適応指導教室スマイルに専任の指導員を1人配置

③ 青少年の健全育成

・各種イベントや団体等に対して「地域のおじさん・おばさん運動」を周知し、登録者数を増加

■関連する個別計画の有無

有

個別計画の名称

郡上市教育振興基本計画